

2016～2020年度 主な実績・研究業績

本事業のメンバーは、この5年間で多くの研究成果を挙げてきました。その成果は、学会発表や論文の執筆などの様々な形で発信し、新たな外部資金の獲得にも繋がっています。ここではその一部をご紹介します。

■ 教員の主な受賞実績（学会の冠賞）



大矢裕一

- ◆ 日本バイオマテリアル学会賞（科学） 2017年11月
- ◆ 高分子学会三菱ケミカル賞 2018年9月



宮田隆志

- ◆ 高分子学会賞（科学） 2020年5月
- ◆ 繊維学会賞 2020年6月



岩崎泰彦

- ◆ 日本バイオマテリアル学会賞（科学） 2020年11月

■ 研究業績

	2016	2017	2018	2019	2020	計
学会での受賞（件）	17	17	20	9	7	70
論文発表（件）	17	40	24	18	31	130
図書（編）	3	12	8	3	6	32
国内外での学会発表（件）	282	223	323	286	141	1,255

年度ごとの業績は、ニュースレターのバックナンバーでご覧いただけます。

■ 教員の主な科学研究費助成事業採択実績（プロジェクト期間中）

大矢裕一

- 基盤研究（A）／2016年度～2019年度
「温度に応答して共有結合ゲルを形成する生分解性インジェクタブルポリマーの医療応用」
- 基盤研究（A）／2020年度～2024年度
「分解時間の自在制御が可能な生分解性インジェクタブルポリマーゲルの医療応用」

葛谷明紀

- 学術変革領域研究（A）／2020年度～2024年度
「ミニマル人工脳のための分子アクチュエーションシステムの開発」

小谷賢太郎

- 基盤研究（B）／2017年度～2019年度
「生理行動計測に基づくVRのための視覚-ハプティクス提示環境のガイドライン設計」

関西大学の「新型コロナウイルス禍の克服に資する研究プロジェクト」に採択

2020年7月、本事業研究代表者らの共同研究テーマが、関西大学の「新型コロナウイルス禍の克服に資する研究プロジェクト」に採択されました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の克服に向けての社会的課題の解決に資するプロジェクトを助成するもので、本テーマを含む14件が選ばれています。

採択テーマ：高分子ミセルを用いた
対コロナウイルス経鼻型ワクチンの開発
研究代表者：大矢裕一 化学生命工学部教授
共同研究者：葛谷明紀 化学生命工学部教授
研究期間：2020年7月1日～2021年3月31日